

地場産食材が給食に登場！

2月の給食には、本庄市の4^{エイチ}Hクラブの会員からキャベツをいただきます。4Hクラブとは、青年の農家が集まって農地を借り、共同圃場で野菜等を栽培する団体です。

農家さんに聞きました！

キャベツを育てて8年になる、峯岸さんと、田端さん。今年のキャベツの生育状況や、大変なことについてお話を伺いました。

「今年は夏の終わりに降った大雨の影響で、生育が遅れ、玉も小さめです。天候に左右されてしまうので計画通りに栽培するのは難しいですね。」お話のように、このキャベツは当初12月の給食に登場する予定でしたが、生育が遅れたため、2月の給食に登場することになりました。8月上旬に種まきをしたものを2月に収穫するそうです。種まきから収穫まで、半年以上もかかるのですね。

「栽培していて大変なことは、キャベツに虫がつくことです。できる限り農薬を使いたくないので。」と話していました。虫がついてしまうのは、新鮮で低農薬な証拠。給食センターでは3層シンクで丁寧に洗い、調理します。



《子ども達へのメッセージ》

キャベツが嫌いな子ども、このキャベツを食べて食べられるようになってもらいたいです。それから、子どもたちには、地元でたくさん野菜がとれることも知ってもらいたいですね。



《峯岸さん》



《田端さん》